



共生の時代

'12
9月

●発行:グリーンコープ共同 thể理事会 ●編集:共生の時代・編集部 ●〒812-8561 福岡市博多区博多駅前一丁目5番1号 ヒューリック博多ビル3階 TEL092(481)7923 FAX092(481)7876



イウス・フェミーネ合唱団員

小西 穂子^{としこ}さん

ウス・フェミニネ
合唱団（以下、合唱団）は、岡山市で活動する女声合唱団。コンサート活動を通じて女性の人権問題解決の助けとなることを目的として、2007年に発足した。この理念に共感して集まったのは、歌は全くの素人という人がほとんどだった。

小西さんは元小学校教諭。現在は自宅で学習塾を営んでいる。特に歌が得意なわけではなかったが、町並み保存の会で一緒に活動していた仲間に誘われた。みんなで楽しく歌って、それが誰かの役に立つならと合唱団の創立メンバーとなった。

合唱団は1、2年に1回チャリティコンサートを行い、その収益はすべて女性の人権問題に取り組む団体に寄付している。そのため、練習会場やコンサート開催に伴う費用は会員（合唱団

の団員)の年会費でまかなっている。月2回の練習は自分たちが上手になるため、コンサートは自分たちの楽しみとして開催している。コンサートのチケットもすべて会員が分担して売っている。合唱団の活動に賛同して買ってくれる人が多いという。

合唱を始めた当初は練習が大変なこともあったが、ハーモニーの素晴らしさ、コンサートで歌うことの魅力を知ったと小西さんは語る。「初めてのコンサートで、歌う人と聴く人の思いがひとつに重なったと感じた。何度も挫折しそうになったけれど、いろいろな声が集まってできるハーモニーの美しさに心が震える感覚と、コンサートで趣旨を理解して来てくれたお客さんも含め、会場みんなの思いが重なる感動を体験してやめられなくなった。歌は手下

手だけではなく、『思い』も大きいのかと感じる」。

今年のコンサートは、たまたま東日本大震災が起きた3月11日と重なった。東北の支援につながるような形にしたいと、福島・関東から避難を希望する人たちのサポートをしている団体に寄付することにした。「自分が合唱団で歌う喜びが、他の誰かの喜びにつながる」ことが嬉しい。つくり上げていくことの苦労は多いが、裏方さんなどたくさんの方に支えられ、やり切れたあとの達成感、連帯感も大きな喜び。自分ができることは小さなことだが、できるのが今の形。自分ができないことをしている人を応援したい。何かの手伝いにちよつとでもなれたらいいな」と語る小西さんの笑顔はやわらかい。

※ラテン語で「女性の正義、権利」という意味

※ラテン語で「女性の正義、権利」という意味

プロフィール
愛知県生まれ、岡山市在住。夫、長男（23歳）、二男（21歳）、三男（19歳）の5人家族。学習塾「すくーるふたば」を営むかたわらで「子育て講座」も開催している。
グリーンコープ生協おかやま組合員

自分の喜びが誰かの喜びにつながる

仲間を増やし、利用を高めよう!



**おいしい産直畜産物を
もっと利用しよう!**

C

Contents

つくろう！「抱樸館北九州」講演会&シンポジウム 共に生きていくホームをつくりたい	2
うちのメーカー・うちの生産者 ^⑫ ハケタ会 信濃五岳会 産直りんご	3
2012年度 第2回 平和学習会 第16回「ピョンファ・エ・ダリ 韓国への旅」	4・5
2012年度 第1回 平和学習会 グリーンコープ共生・平和長崎自転車隊	6・7
酪農ホームステイ	8・9
第16回 青少年ネグロス体験ツアー報告	10
グリーンコープ生協ふくおか 牛乳学習会	
産直 ^⑬ 牛乳は「生命を育む食べもの」そのもの	11

別紙にて、「放射能汚染と向きあう(放射能測定室より)」を掲載

今年で何年になるのかな？
春になると毎年頭の中で数えている。何をしても長続きしない私に、10年以上続いていることがふたつある。

ひとつは勿論グリーンコープ活動。そしてもうひとつは3番目の末娘(高2)が、小1の頃から関わっている小学校での朝の読み聞かせ。娘が卒業してからはOGとして。

ふたつに共通して言えることは「好きだから」「楽しいから」「出合いがあるから」

送 信

かな。読み聞かせは、お手伝いできる回数が少なくなってきたというが、子どもたちの反応、表情に元気をもらっている。よく読んでいる本のひとつに「だじょうぶ」の絵本がある。世の中困難なことがあっても、今日も心の中で自分につばやく。

「だじょうぶ」。

グリーンコープ生協おおいの理事長
塩月 恵子

だいじょうぶ。

「抱樸館北九州」が担いたい機能

- 1 自立支援(シェルター機能も持つ)
 - ・抱樸館福岡と同様に、困窮状況にある人が再び地域で自立生活を送ることができるよう支援を行う。
 - ・緊急性の高い野宿状態の人を受け入れるシェルター機能も持つ。
- 2 サービス付き住宅事業
 - ・地域での独居生活が困難となり、日常生活の見守りが必要な人を受け入れ、終の住処として利用してもらう。
- 3 介護事業(デイサービス)
 - ・抱樸館北九州内でデイサービスを提供する。
 - ・介護支援が必要な入居者へヘルパー等サービスを紹介し、利用のための手続きをサポートする。
- 4 障がい福祉事業(作業所)
 - ・障がいのある入居者へ必要な支援やサービスを紹介し、利用のための手続きをサポートする。
 - ・抱樸館北九州内の清掃や洗濯等を就労として準備し、障がいのある人に就労の機会を提供する。
- 5 自立生活サポートセンター
 - ・野宿状態から自立し地域で生活をはじめた人の日常支援を行う。
- 6 食堂(一般利用レストラン)
 - ・入居者に限らず誰でも利用できるレストラン。1日3回の食事を提供する。
 - ・地域の交流スペースとして集会の場所にも一般開放。
- 7 互助会
 - ・地域で自立生活をはじめた人、スタッフやボランティアの人も含めた相互支援の仕組み。
 - ・バザーや交流のためのカフェを開催。また必要に応じて会員の葬儀も実施。
- 8 相談事業
 - ・地域で困窮状態や孤立状態にある人が誰でも相談できる窓口を準備する。
- 9 ボランティアセンター
 - ・抱樸館北九州内や地域での支援活動を希望する人に、ボランティア活動の紹介や参加調整等のコーディネートを行う。
- 10 仕事づくり・社会的就労
 - ・抱樸館北九州内に就労の場をつくり雇用を生み出すことで、そこで働く人に働くことの意味や生きることについて考える機会を提供する。

つくろう!「抱樸館北九州」講演会&シンポジウム
絆を問うー3・11以降を生きる私たちー

主催 NPO法人北九州ホームレス支援機構

2010年5月、福岡市に開所した抱樸館福岡は、社会福祉法人グリーンコープとNPO法人北九州ホームレス支援機構(以下、ホームレス支援機構)が協働で運営を担い、ホームレス状態に陥った生活困窮者の自立支援に取り組んでいます。自立後も再び困窮状態に陥らないために、継続的な支援にも力を入れています。生活困窮者の中には高齢者も多く、地域でのひとり暮らしが困難な人や日常生活の見守りが必要な人も少なくありません。

そのような中、ホームレス支援機構は、地域の中で困窮状態にある人たちのホームとなれる拠点として、「抱樸館北九州」を建設しようと立ち上がりました。7月14日、北九州市にて、ホームレス支援機構が主催して「つくろう!『抱樸館北九州』講演会&シンポジウム」が開かれ、約1,200人が参加しました。そのようすについて報告します。



奥田知志さん

三宅民夫さん

茂木健一郎さん

共に生きていくホームをつくりたい
「抱樸館北九州」の建設を応援しよう――

人は人とのつながりの中で生きている

脳科学者 茂木健一郎さん

自立するとは金を稼ぎ家族を養うこととされている。自立できない人は自分が悪い、自己責任だと言われる。僕は脳科学的な立場から、そんな自己責任論や自立観はまったくの嘘だと証明したい。人間は親やクラスメイト、おじさん、おばさん、無数の人々の影響を受けてできている。温かい人間関係に支えられて僕がいる。自立しているとは、自分だけの力でできているのではない。多くの人にたくさんものをいただいて、初めて自立して生きていけるんだ。

脳の神経伝達物質のドーパミンは嬉しい時に出る。他人のために何かをするとドーパミンが出る。ことが分かっている。つまり人は人とかかわりの中で生きるものだということが分かる。

人はお金だけでは生きていけない。人とのつながりがないと生きていけない。ホームレス状態の人は社会との絆がない状態。社会に戻るには友や人との絆が必要。どうやったら絆をつくってあげられるか、それがとても重要なことだ。

第四の絆をつくる

NHKエグゼクティブアナウンサー 三宅民夫さん

3・11以前のキーワードは「無縁社会」だった。親の収入が少なく、学校に行けない。友との縁が切れる。非正規で働く。仕事を失うという悪循環。しかし、無縁の一方で自由を手に入れる。そういう社会だった。

3・11以降に「絆」という言葉が現れた。絆とは何か。一、地、地域のコミュニティ。今は薄れてきている状態。二、職、仕事、会社の縁。終身雇用ができなくなってきた。三、血、家族の縁。当てにできる状態ではない。

ラジオ番組を通して、3・11以降、人々は家族の持つ深い意味を感じ取るようになったと感じている。家族とは①受け皿、住まい。②記憶、母親が自分を認めてくれたといった、家族との思い出の重要な要素。③伴走、記憶に基づいて、どんな大変な時も一緒に生きる。そうすることで、自分が認められていると感じ、安心することができる。

今、家族の持つ「伴走」というものを第四の「絆」として、地域に制度や活動でつくっていかねければならない時だと思う。

わたしは施設をつくりたいのではなく、
抱樸館をつくりたいのです

NPO法人北九州ホームレス支援機構

理事長 奥田知志さん

抱樸とは荒木・原木を抱くという意味です。

最近「絆」という言葉が盛んに使われていますが、絆の意味がちよつと違うような気がします。原木ではなく、きれいに整えられたものなら受け入れまじょうというのが現在言われている絆です。しかし、整えられるのを待っているのは、命は失われていくのです。「そのまま抱きとめる。出会った最初に入れる。そこ

から始めよう」。それが抱樸館です。

北九州ホームレス支援機構は野宿状態の人を20年支援してきました。その中で様々に傷ついた人と出会ってきました。

Nさんはお酒が好きで、飲みすぎでは問題を起こす困った人でした。ある時、飲みすぎて事件を起こし裁判になりました。わたしも裁判に駆けつけました。裁判官がわたしに「この方を

支援するんですか?この方の課題は何ですか?」と聞きました。わたしは「お酒でしょう」と応えました。すると裁判官は「お酒を飲まないことを条件として引き受けると書いていいですか」と言われました。わたしは「この人を引き受けます。だからお酒は飲まないでねと言いたいんです」と応えました。

人は周りに受け止められて生きています。わたしたちがその人を受け入れた時、抱きしめた時にその人の人生が始まります。先ず出会う。先ず引き受ける。その場をつくりたいのです。人は確実に変わります。

Nさんは出会いの中で変わっていきました。アルコールも少しは飲んでいますが、かつてのようなことはなくなりました。

本当の絆とは

「絆(きずな)」という言葉には「きず」が含まれています。絆はちよつとだけ傷つくことから始まるのではないでしょう。傷つくのが嫌で人と出会わなくなつた現代。知ってしまうと知らないと言えないから、出会わないようにしようとしているのです。そんなに自分を守ることが大事なんでしょうか。傷つくことを恐れて人と出会うことを避

パネルディスカッション

奥田 抱樸館北九州には4階に展望レストラン「出て来い食堂をつくらう」と計画。家にいないで元気だったら出て来て一緒に食べませんか?というコンセプト。いつも来ている人の顔が見えなくなつたら様子を见に行くという共に生きる食堂。

茂木 支援は持っている人が持っていない人に与えるというものではない。ホームレス状態の人から私たちがもらうものもある。生きているということ自体のすこさ、傷ついた人やしいたげられた人たちが持っている深い意味に触れて、僕は勇気づけられた。

三宅 現代は、地、職、血の三つの縁が崩れた社会。仕組みをつくらないと人と人が出会えない社会。その仕組みが三つの縁を支えるのだと思う。

茂木 抱樸館北九州をつくることは、世界に向けて支援型コミュニティを発信するチャンスだ。

奥田 他人同士が出会つてお互い助け合えるようなシステムもつくりたい。いろいろ課題はあるが、すすめていきたい。

健全に傷つく場所をつくる

原木を抱くから傷つくのです。しかし、抱かれた人は、自分のために傷ついた人がいると知れば、もう一回生きてみようと思うのです。わたしはたくさんの方がちよつとずつ傷つく場所をつくりたいのです。

抱樸館は人と人の出会いの場です。今の社会にどうしても必要な場所です。抱樸館北九州を是非応援してください。



手前がハケタ会の生産地のある長野市の豊野・赤沼地域。奥が信濃五岳会の生産地がある小布施町。中央に横たわる千曲川の両岸には濃い緑のりんご畑が広がる

今年もおいしいりんごを届けます！



梅雨明けした7月下旬、りんご畑では8月下旬から出荷する予定の「つがる」が色づきはじめていました。
長野県の北東部には、グリーンコープの産直りんごの産地が3つあります。今回、そのうち長野市小布施町の信濃五岳会と、豊野・赤沼地域のハケタ会の生産者を訪ねました。りんごの栽培や、今年の作柄などについて話を聞きました。

信濃五岳会

一人からグループへ

メンバーの関谷さんは、農薬の散布作業で目が赤くなったり、手が火傷のように腫れた経験を持つ。だから減農薬栽培への思い入れは人一倍強い。今は通常栽培の3分の1まで農薬を減らしてもつくる自信はあるが、会としては通常栽培の3分の2程の農薬散布は認めている。

1980年、九州のみかん生産者の友人から紹介されてグリーンコープの前身生協と一人で取引をはじめた関谷さん。10年ほどたった頃、九州で行われた交流会で、他の生産者からグループづくりをすすめられた。帰ってすぐに近隣の生産者に声をかけ、5人で「信濃

ハケタ会



ハケタ会のみなさん（前列左端が竹内さん、2列目左端が柳沢さん）

減農薬への挑戦

1980年代前半「無農薬でりんごがつかないか」とグリーンコープの前身生協からハケタ会に相談があった。りんごは1年に1度しか収穫できない作物。自前の畑での試験栽培はリスクが大きい。200坪ほどの土地を借りて農薬を使わない方法で取り組んでみたが、5年ほどですべての木が枯れてしまった。それでも、実際に農薬を散布して影響を受けるのは自分たち生産者であり、組合員の思いにも応えたい。どこまで農薬を減らせるかに取り組むため、1990年、グループとして減農薬プロジェクトを立ち上げた。農薬の毒性を知り、できるだけ安全で害虫や病気に効果的な

父親から仕事を継いだ後、会に誘われ減農薬栽培することを決めた。昨年は「炭そ病」が広がったが、それに対応する農薬は使わないと会では決めていたため、病気がかかたりにくくなった。りんごを廃棄する以外なかった。雨が降らないとりんごの実が太らない。しかし、雨が多いと炭そ病の菌が入る可能性がある。菌が入ったかどうかは見ただけでは分からない。症状が現れるのがりんごが大きくなり収穫に期待をかける8〜9月という。しかも



信濃五岳会のみなさん

（左端が関谷さん、左から2番目が清水さん）

1年では木は回復しない。しかし、清水さんと同様、農業指導員を辞めて生産者となった須山さんも、減農薬栽培を当たり前のよう受け止めて取り組んでいる。信濃五岳会は組合員との交流の機会があれば必ず出かけて行く。長野での開催なら夫婦そろって参加する。「伝え聞くのと参加して感じるのでは違うから」と関谷さん。9月から10月は、つがる、紅玉、秋映、シナノスイートとさまざまなりんごが収穫できる。関谷さんの願いはそれを持つて遠くへ行くこと。小林さんも「交流会に行くことと支えられているのを感じる」と話す。信濃五岳会のメンバーは「顔の見える関係」に熱い思いを持っている。※りんごの果実を腐敗させる病害

「早期予約」という取り組み

今年はカタログGREEN25号・26号（9月3日・10日週配布）で「りんご・みかんの早期予約」に取り組みます。早期予約は、生産者に「あなたのりんごを待っていますよ」と伝える取り組みです。生産者にとっては「りんごづくりのエネルギー」。さらに安全でおいしいりんごづくりに力が入ります。

摘花と摘果を重ね、最終的に収穫できるりんごは、1本の木に咲く花の数の1割弱。自然が育てる恵みと「それを手助けするだけ」と生産者は言いますが、努力の「賜物」です。グリーンコープの生産者の思いが込められたおいしいりんごを食べてみませんか。

りんごが実るまで

暑さに弱く、日中と夜の寒暖の差でおいしくなるりんご。日当たりなどをイメージしながら春先に木を剪定する。その年のりんごの生育や収量を定める大切な作業だ。新しい品種を栽培するための接木作業もある。りんごは自家受粉しにくいため、他の相性の良い品種のりんごを同じ畑で混植



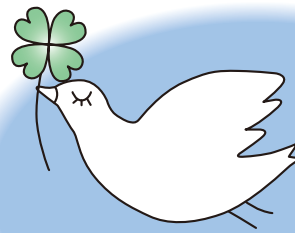
シナノスイート ふじ 王林

早期予約できるりんごたち！

りんごができるまで

月	生育	作業
1	休眠期	皮剥り
2	休眠期	整枝・剪定
3	休眠期	対策 雪害
4	展葉期	摘花
5	展葉期	受粉
6	展葉期	対策 遅霜
7	果実肥大・成熟期	摘果
8	果実肥大・成熟期	対策 夏期剪定
9	果実肥大・成熟期	対策 ノネズミ対策
10	果実肥大・成熟期	対策
11	休眠期	対策
12	休眠期	対策

を学ぶことを 平和について 考える



2012年
グリーンコープの平和

共生と平和はグリーンコープの原点です

グリーンコープでは日本と韓国の歴史を学ぶことを通して「平和」について考える「ピョンファ・エ・ダリ(平和の橋)韓国への旅」を1996年から実施し、市民による未来に向けた交流と連帯につないでいます。

今年も開催された「ピョンファ・エ・ダリ(平和の橋)韓国への旅」と、それに先立ち開催された第2回平和学習会の様子を報告します。



—「日本の朝鮮植民地支配責任について」—

講師：板垣竜太さん(同志社大学社会学部・准教授)

戦争責任というのは、比較的なじみのある言葉だと思います。対して、植民地支配責任という言葉は、日本でも1960年代位からあるのですが、それほど浸透してはいません。

戦時中に強制連行や日本軍「慰安婦」など様々な被害を朝鮮に与えたことは知られています。ただ、植民地支配は戦時に限ったことではなく、戦争の前から続いていたことでした。例えば、日本は朝鮮を併合する5年前の1905年に朝鮮を保護国化しました。この時期、朝鮮の国内では日本の統治への抵抗が起こり、1908年には義兵闘争がピークとなります。官憲資料によると、義兵の1万7千人が日本の武力で殺害されました。また、植民地化した以降も1919年の三・一独立運動の際に数千人、関東大震災に乗じた弾圧で数千人の朝鮮人が虐殺されたと言われています。

こうした、戦時に限らず、植民地支配に起因した諸問題を問うための概

念が「植民地支配責任」です。これは日本と朝鮮半島の間だけでなく、ポスト冷戦状況で、世界的にも議論されています。

ここでは、紙面の都合で、韓国での動向についてののみ簡単に紹介します。

韓国では、「親日派」問題を含め、過去清算や責任追及・補償の動きが、冷戦下の分断状況や軍事政権によって押し込められ、先送りになっていました。民主化後の1990年代以降、封印されていた冷戦期やそれ以前の暴力の問題について、国レベルで真相究明しようとする多くの委員会ができました。そのなかで改めて「親日派」や強制動員の真相究明が進みました。ただ、それも近年、政治的影響から立ち消えになっています。

一方、日本政府はこの問題を基本的に韓国国内の問題としてとらえ、対応をしていません。世界的にも、植民地責任論が広がりつつある現在、日本がどう考え対応するか、改めて世界で問われています。

第2回平和学習会 共同体組織委員会

まず歴史とその背景をしっかりと学ぶことが大切

はじめの挨拶

共同体組織委員

生田裕美さん

戦争では、普通の市民が被害者となり加害者となります。あつてはならないものです。しかし戦争や紛争は今も世界各地で起こっています。市民同士の理解や交流を進めていくというのは地道ではありますが、争いをなくす方法の一つかもしれません。お互いの理解や交流を深めていくためには、まず二国間の歴史とその背景をしっかりと学ぶことが必要です。

今日の学習会を私たちの活動に生かし、これからの日韓関係、そして世界の平和へとつなげていきたいと思っています。



感想を話す林さん

感想

今年、「ピョンファ・エ・ダリ(平和の橋)韓国への旅」に参加するひろしま理事長の林和子さん

今回、朝鮮半島への植民地支配について、背景などを学んだことを経て、韓国へ平和について考える旅に行きます。過去の歴史を学び、その背景と現代の中で市民としてどう向かうかというのが課題だと思っています。とにかく



熱心に聞く参加者

おわりの挨拶

共同体組織委員

矢野絵理さん

戦後から現在における日本、朝鮮に対する関わり方を詳しく学びました。私たちは過去の歴史を変えることはできませんが、過去に起こったことを知り、きちんと伝えていく責任があると強く感じました。今日のお話を聞いて、平和について、単協でもしっかりと伝えていきたいと思っています。

く、命そのものを大切にするとというのが一番だと思います。

組合員の感想から抜粋

・人と人との結びつき、関係性を築いていくことが大事だと思います。

・交流すると、はじめて分かることがあると思います。市民レベルで交流し、体感することが大切。

2012年6月26日
福岡市
参加者102人

歴史 通して

「ピョンファ・エ・ダリ（平和の橋）韓国への旅」に
り組み始めた1996年に、グリーンコープ連合
理事会（当時）は左記のように確認しました。

- ・「食べもの」は「生命」の「元」になるものです。グリーンコープの「安全な食べもの」は全て、「生命」を大切に考え、尊重しようとするグリーンコープの、この「基本精神」に育まれ育てられて来たものです。従って、グリーンコープから、暴力と戦争に反対し、平和を希求する取り組みを取り除くことは出来ません。
- ・このため、グリーンコープは毎年八月八・九の両日、柳川から長崎に、みんなが自転車で走り、原爆で悲惨な死を遂げられた人々の、無念の想いを知り、受け継ぐための旅を続けてきました。
- ・同時に、今年から、かつて日本が侵略し、塗炭の苦しみを味あわせたことになった、お隣の韓国を訪れ、残されている傷跡に接し、将来に向けての戒めとする旅を始めました。
- ・この旅は、ひとり韓国にとどまらず、過去、日本の侵略に苦しめられた全てのアジアの人々への、鎮魂の旅でもあります。
- ・グリーンコープは、暴力と戦争に絶対に反対します。共生と平和は、グリーンコープの原点です。
- ・この「基本精神」に支えられて、グリーンコープの「食べもの」ははじめて、「本物」であり続けることが出来るのです。また、グリーンコープの「地域福祉」の取り組みも、「本物」になることが出来るのです。

一九九六年十一月六日
生活協同組合連合会
グリーンコープ事業連合
第四期第一一回理事会
※泥にまみれて火で焼かれること。転じて、ひどい苦痛。きわめて辛い境遇

第16回 ピョンファ・エ・ダリ（平和の橋）韓国への旅

2012年7月21日～23日

「ピョンファ・エ・ダリ（平和の橋）韓国への旅」は過去の日本の侵略の歴史を正しく知り、「グリーンコープの平和」について再認識することを目的に16年間続いています。実際に出かけていき説明を受けながら見学することで、日韓の歴史、現在の韓国の状況を実感として捉えることがで

きます。また、韓国のハンサリム、ドウレ生協との交流を通して、未来に向かって連帯することも目的としています。

この旅の参加者は、自分たちが参加して感じたことを、地域で広く語り伝えていく役割を持っています。

独立記念館の前で。後ろに見えるのはキョレ（同胞）の塔。大地を蹴って空に飛び立つ鳥の羽、折り紙をささげる両手を形象化したもの



ドウレ生協（バルン）の安陽店で組合員理事の出迎えを受けてました



ハ（サリム）との交流では、各自が脱原発に向けてのメッセージを書いて、提灯を作りました



ナムムの家でハルモニと交流。ハルモニは日本から来た私たちを温かく迎えてくれました



グリーンコープのメンバーも歌を披露し交流しました



ハンサリムのみなさんが太鼓や民謡を披露。みんなで踊りました



韓国と日本を結ぶ架け橋として続いて欲しい

—ピョンファ・エ・ダリ（平和の橋）韓国への旅に参加して

グリーンコープ生協くまもと 理事長 牧 幸子

今回はグリーンコープ生協ひろしま理事長を団長として15人が参加しました。2泊3日の行程の中で様々な歴史資料館などを回りながら朝鮮民族の優れた文化を目の当たりにすると共に日本帝国主義の侵略の様子、その侵略に抵抗した独立運動など日本人として見るに堪えない展示物や資料がたくさんありました。特に印象に残ったのは、独立記念館にあった「歴史を忘れた民族に未来はない」という言葉でした。この言葉が日本人に向かって言われているものであるかどうかはわかりませんが、私たち日本人は過去にあった悲惨な事実をしつかりと受けとめ、未来に向かって一歩一歩進んで行く必要があると改めて考えさせられました。また、日本軍「慰安婦」歴史館やナムムの家での見学と交流では、説明を聞きながら「人はここまで残酷になれるものか」という怒りが込み上げてくるのと同時に被害者の方々の苦しみを思うと涙が溢れだして止まりませんでした。そのような重たい気持ちを抱えハルモニに会いにいくと私たちを満面の笑みで迎えてくれました。握手をしたハルモニの手はとても温かく、そのぬくもりは決して忘れません。私たちは韓国と日本のこれまでの歴史と、私たち日本人にあまり知らされてこなかった歴史を含めて、もっと理解を深めていく必要があるように感じました。

また1日目のドウレ生協（バルン）との交流会では、ドウレ生協理事長より「東

アジアの中で平和を愛する皆さんに出会えたことをうれしく思います。これから平和への歴史のひとコマひとコマと一緒に作っていきましょう」との挨拶があり、その後は一緒にうちわを作ったりしました。2日目のハンサリムとの交流会では、ハンサリム理事長より、「朝鮮侵略や戦争は韓国に深い傷跡を残しています。皆さんがそのような過去を忘れずに学習して下さることは大変勇気がいることだと思います。ハンサリムとグリーンコープがある限り未来は明るいと思います」と挨拶されました。その後は、歌の交換や脱原発を意識した提灯づくり、太鼓や民謡の披露が行われました。言葉は通じなくても、歌や踊りは互いの間にある壁をたやすく越え理解しあえるムードを作ってくれて、平和・自然を愛する同じ思いを持った仲間がここにいることを実感させてくれました。

今回の旅は精神的に非常に重い、辛いものでしたが、サポートして下さった方々のおかげで素晴らしい旅になりました。今後もこの旅が韓国と日本を結ぶ平和の架け橋として続いてほしいと思います。

※1 戦時に日本軍から性的な暴力を強いられ、日本軍「慰安婦」制度の被害に遭ったハルモニたちが集まり共同生活をしている場。現在8人が共同生活をしている。

※2 朝鮮語で祖母、おばあさん。ナムムの家ではそこで集団生活をする女性たちのこと

和」を願い、 うために 長崎へ

2011年の東日本大震災での東京電力の原子力発電所の事故では、多くの人たちの平和な日常の暮らしが失われました。改めて私たちは「原子力の平和利用というものは無い」ということを強く心に刻みました。1945年8月9日、長崎に原子爆弾が投下されました。今年も8月8・9日、長崎まで平和と不戦を沿道の人に訴えながら、銀輪隊43人と自転車隊101人が自転車で行きました。組合員やスタッフ、そして沿道からの温かい声援の中、被災者への想いを胸に、不戦のメッセージを背中に、8月9日の朝、長崎に到着しました。11時02分、平和を願う心を一つにし黙祷をささげました。

グリーンコープ共生・平和長崎自転車隊 第20回共生・平和銀輪隊 第25回共生・平和自転車隊



早朝6時、柳川を出発。
たくさんのお見送りの人に「行ってきます！」



銀輪隊走行区間 自転車隊走行区間

銀輪隊

組合員の子供（中学生）。柳川～長崎までの全行程を自転車で行く

自転車隊

組合員とその家族で、自転車に乗れる人。一部区間を自転車で行き、その他の区間は貸切バスに乗って応援する

く。「よいしょ、よいしょ」



日見峠は、自転車のすぐ横を大型トラックや車が通る。「がんばれーもうすぐ下り坂だー」



昼食休憩した鹿島市立七浦小学校で、記念写真。
「自転車隊オー！」のポーズで



▲小長井支所では、グリーンコープ（長崎）組合員が牛乳のサービス。冷たくておいしい。
▲各単協からの応援の横断幕と拍手の中、森林公園に到着



▲肥前鹿島に到着
▲隊列を組んで長崎駅前通りをゴールの松山公園に向かいます



出発に寄せて

第20回共生・平和銀輪隊、第25回共生・平和自転車隊が、今年もまた柳川から長崎までの道を行います。グリーンコープ連合が誕生した年、59名が第1回自転車隊を走ってから早や25年目を迎えました。25年を振り返るとき、二つの大きな変化を見て取れます。それは、25年前にグリーンコープ連合が誕生したときに、「大変な時代がやってくる。それに急ぎ備えていかねばならない」と言われてきたことでした。

一つ、気候と環境が変わりました。この地球環境の変化は、今後世界全体の脱原発を進めることと上手に舵取りをしながら、しっかり見据えておかねばならぬものです。グリーンコープは、だから自然エネルギーを組合員と市民で創っていかうと考えます。

二つ、世界と日本の経済は軋みを立てて縮小しています。助けあいと支えあいの仕組みを経済と生活の日常につけていくこと、今と将来を生きる人々の連帯の仕組みです。それに裨益することがグリーンコープに問われています。

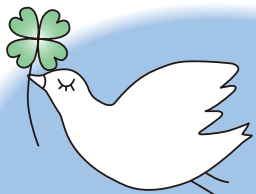
さて、この二つの変化を思うとき、あらためて、だからこそ生命（いのち）そのものが本当に大切なのだと言えないでしょうか。この長崎への不戦を誓う自転車隊は、その「生命そのものに価値がある」という希い（ねがい）から始まったものでした。柳川の地に灯された、まるで火の玉のような地域のその熱をグリーンコープの組合員の共通の財産として育んできたように思います。これは子どもたちの「長崎に行こう」「今年も行こう」という、それが生命そのものであるような期待に「あー、行こう」という大人の応答でもあります。

明日、長崎爆心地に到着します。67年前の8月9日に長崎上空で原子爆弾が炸裂し、7万4千人の人々が一瞬のうちに生命を奪われました。それ以後も多くの苦しみが続きました。明日の長崎は祈りの日です。絶対に私たちは戦争をしない、戦争をするような条件を無くしていくと心に誓い、亡くなられた人々への鎮魂をささげたいと思います。

グリーンコープ共同体専務理事
東原晃一郎

第1回平和学習会 共同体組織委員会

2012年度の「共生・平和長崎自転車隊（以下、自転車隊）」の取り組みに向けて、5月31日に第1回平和学習会が開催され、共同体専務理事の東原晃一郎さんによる講演が行われました。



2012年
グリーンコープの平和

共生と平和はグリーンコープの原点です

「平

「不戦」を誓

自転車隊の取り組みを通して、グリーンコープの「平和」を知る

日常から自転車を取り入れた保育を実践

グリーンコープ連合初代会長武田桂二郎さんが、1972年、自宅に開設した託児所「無名舎こどもの家（当時は柳下村塾）」は、グリーンコープの母体の一つ。「遠くは電車で、近くは自転車で」と、野外の行事には自転車で出かける。現在は、託児所と小学生教室を続けている。

生きものが自分の生命（いのち）を守るためのいろいろな情報をコントロールする。脳が生命（いのち）を損なうようなことをしないために、体をよく動かして、体と脳を繋ぐ脳幹を刺激することが大事だ」と考え、保育に自転車を取り入れた。託児所の子どもたちは、はじめは保育の引くりヤカーで、歩けるようになったら歩いて、体力と足の力がついたら自転車に乗り、やがて往復3kmある公園まで自転車隊で隊列を組んで出かけるようになる。

不戦サイクリング
「共生・平和長崎自転車隊」

日常の自転車の取り組みをもとに、武田さんは、1984年のお盆に、「お盆の日（戦わぬ日）」というボンファイヤーアピールとして不戦サイクリングを始めた。1988年に設立したグリーンコープ連合は、単協とグリーンコープ連合を結び共有財産として、長崎原爆の日に向け平和行進と平和集会を行うこととした。

それは機に、無名舎だけで行っていた行事は、託児所のある柳川から原爆の爆心地長崎まで自転車で行く「第1回共生・平和長崎自転車隊」となった。そして1993年、全行程を走破する中学生による「第1回共生・平和銀輪隊」、全行程ではないが子どもたちや大人が走る「第6回共生・平和自転車隊」で構成されるようになった。

子どもたちは応援を受けて、自分の力だけではやれないことを頑張つてやり遂げる。応援する人も、その頑張る姿を見て力をもろう。裏方に徹する組合員と職員のみならず、全力でこの子どもたちの生命（いのち）を守ろうと動く。それを子どもたちは感じ、大人たちを信頼し、事故もなく25年間続いてきた。

グリーンコープの平和論

1988年、武田さんが長崎での平和集会で発表した「私のグリーンコープ平和論」を、「グリーンコープの不戦決議」として確認した。3つある項目はすべて「自然としての生命自体に価値がある」からはじまる。第一項は「平和はそれを保証する最大の条件である。

私たちはどんな意味でも戦争による人命の損傷を合理化しない。第二項には「そ（正当防衛発生）の条件を無化するために、文化としての人間の生命の価値を対置していく」がある。現在、正義のためとか正当防衛などとして世界で起きている戦争をなくしていけるかが問われている。また、戦争が起きる根本には富の偏在がある。戦争と暴力の本質的な原因である自己中心性（これが何時でも支配、圧政、侵略、特に正義に化ける）」と、日常的に根気よく格闘しなければならぬ。争いのもとになる条件を無くしていくという努力をみんなで行うというのが「共生の理念」だ。グリーンコープの基本

これからについて

事業と運動が集約されるグリーンコープ連合と、単協との関係を間違わないようにつなぐ役割を担うのが、グリーンコープ共同体だ。共同体がその役割を実現できた時に、グリーンコープ運動は大きく広がり、一人ひとりの組合員のものとなる。そのような共同体が、自転車隊では、無名舎こどもの家と、グリーンコープ連合、単協とをつなぐ役割を担う。自転車隊は、グリーンコープが道を間違わぬためのアンカー（船の錨）。この25年間、グリーンコープは「食べもの運動」を貫き、人と人の共生による「第二地域創出」を一步步着実に進めている。今後、経済の崩壊が来ると考えられるが、「食べもの」を守り抜き、人と人の関係を良くすることで、生命（いのち）に寄り添うことを貫いていく。



平和のつどいあいさつ

グリーンコープ共同体代表理事
田中 裕子

今年もリーダーとして走行しました。例年以上に猛暑の年となりましたが、無事この取り組みを終えることが出来たことに、応援して下さい皆さんとスタッフの方々に感謝したいと思います。昨年の東日本大震災や九州における大雨の被害で多くの尊い命が奪われました。私たちはともすれば、あたりまえと感じてしまう平和の大切さ、生命の尊さをこの取り組みを通して改めて心に刻み、明日からを大切に生きたいと思っています。



有明海沿いは、上り下りの多い道が続



松山公園では平和のアピールを力強く述べ、黙祷の後、千羽鶴を原爆の犠牲者にささげました



平和のアピール



銀輪隊代表
グリーンコープ生協おさか
池戸 璃（中2）

僕は戦争が終わり、54年が過ぎて生まれました。戦争の話聞く機会はありません。戦争を身近に感じることは滅多にありません。今日、原子爆弾が落とされたこの場所に立って、絶対戦争はよくないと思います。走りきった今、あらためて戦争をしてはいけない、そしてずっとこのまま平和であることを願います。



ぼくは、戦争がいやです。何万人、何億もの人が、ぎせいになり死にました。原爆でも、たくさんの方が死にました。福島原発の事故でも、放射能で、たくさんの方が、帰宅困難となりました。ぼくは、初めて日見峠をこえるとき、きつかったです。でも原爆で死んだ人たちが、とても苦しんだらうと思います。だからぼくは、戦争も、原発も反対です。

自転車隊代表
無名舎こどもの家
古賀 永（小5）

乳のふるさとへ

通して子どもたちへ伝えたい～

44人の子どもたちが
参加しました

ムステイ

子どもたちの感想



牛たちが食べやすいように
牧草を集める



宮城 大さん(中1)
グリーンコープ生協(長崎)

牛の世話は愛情を込めてすることが大切

よくが、酪農ホームステイを体験して、大切に、大変だと思っただけ、牛の世話をすることです。当たり前のことだけど、えさをあげなかつたりしたら、牛は死んでしまいます。でも、ただえさをやつたり、そうじをしたり、搾乳をしたりするのはなく、愛情を込めて、世話をすることも、大切だと思いました。酪農の仕事は、朝早くから、始まりました。そうじをし、えさをやり、子牛にミルクをやり、搾乳などをして、朝の作業は、終わりました。牛舎に行くのは、朝と夕方、この朝と夕方に必ず搾乳をしないと、牛の乳がたまりすぎて、少し弱ってしまうことをきき、びつくりしました。搾乳をしたいときにする、ではだめなんだなと思いました。これからは、農家の人のことを考えながら牛乳を飲んでいきたいです。



配合飼料と牧草を
混ぜたものを与える



岩本 真希さん(小5)
グリーンコープ生協くまもと

私の好きな牛乳をこれからも作ってほしい

まず、パシオンに行き、じゅう医さんのお話やビデオを見ました。乳牛はお母さん牛になるのが約2才と聞いて、人と比べると早くてびっくりしました。その後、お世話になる農家の人に会った時、少しこわいなと思ったけど、話したらおもしろい人でした。私のおじいちゃんも牛を5頭かっているけど、その100倍ぐらい広い牧場でした。牧草地はもっとと広くて、見たすき草ばかりでした。朝と夕方、牧場の仕事のお手伝いをしました。乳しぼりは、機械でするけど、前しぼりとして、手でしぼりました。生まれて30分くらいの子牛を見ることができました。子牛のミルクやりは最初指をなめさせて指ですきまを作り、そこには乳びんを入れました。意外と力が強くて乳びんがひっぱられて大変でした。牛へのえさやりは、体力が必要で、きつかったです。でもタイからの留学生のお兄さんはとても早くてすごいと思いました。最初はお母さんにすすめられてしかたなく参加したけど、子牛はかわいかったのが楽しかったです。私の好きな牛乳をこれからも作ってほしいと思いました。

熊本県菊池市は、緑の山々に囲まれた肥沃な土地とおいしい水に恵まれた、農畜産業が盛んな地域です。沿道には、小さな実を覗かせた飼料用とうもろこし畑が広がり、あと少しで収穫を待つばかり。一面の畑を抜け山肌に向かつては酪農を営む牧場が点在しています。その中の菊池地域農協の酪農家41戸(泗水、旭志、大津、合志地区)が、グリーンコープのびん牛乳の原乳を生産しています。

現在、びん牛乳の原乳の生産者41戸で飼育されている1万3千頭あまりの牛たちは、non-GMO(遺伝子組み換えでない)の飼料を食べ、元気に育っています。安心・安全な牛乳が飲みたいという組合員の願いにこたえ、生産者とメーカー、組合員と一緒に試行錯誤を繰り返して、理想の牛乳が実現しました。



グリーンコープでは生産者と顔の見える関係が続けています。タオルを贈る取り組みでは、搾乳前に乳房をきれいに拭くためのタオルを、組合員が出しあい毎年贈っています。また、生産者が安定して酪農を続けられ、組合員がずっとびん牛乳を飲み続けられるように「生産奨励金」の仕組みをつくりました。私たちは、びん牛乳を次世代の子どもたちに残していくためにも、飲み続けることで支えていくことが大切だと考えています。

びん牛乳を次世代の子どもたちに残したい

おいしい空気と水が 自慢の菊池地域で 乳牛を大切に育てています

non-GMO 牛乳生産者会委員長
永田浩徳さん(旭志地区生産者)



一昨年の大震災と原発事故による同業者の廃業には心を痛めています。長い年月をかけて交配し改良を重ね、子孫を繋げてきた酪農家には、代々こだわりを持って牛を育てているという自負があります。それが、自分の代で終わってしまう事は辛いです。今でも、事故直後に汚染地域に取り残され、えさを求めてさまよう牛たちの映像が思い出されます。

また、後継者問題も私たちの身近なところで課題となっています。地区の酪農家の中には、後継者がいない生産者が何軒もいます。最近では日本の食料自給率の低さが注目され、就農する若者も増えてはいますが、酪農や畜産については新規参入は難しい面が多いと思います。設備には多額のお金が必要だからです。農業、高校や農業大学を出ても、親の後継者以外、一から始める事は現実的に厳しいのです。

私には、現在北海道で酪農の研修をしている息子がいます。けれども、跡を継いでもらうことに不安がなければなりません。課題は多いですが、おいしい空気と水が自慢の、この菊池で酪農ができることは幸せです。子どもたちへ残していけるように乗り越えていきたいと思っています。

産直びん牛乳の原

～見て聞いて体験を

酪農ホー

「酪農ホームステイ」は、グリーンコープの産地交流の一環として、夏休みに組合員の子どもたち（小学5年～中学2年）が生産者の家に宿泊して酪農の現場を体験することが出来る貴重な取り組みです。



解散式の後、JA菊池農業総合情報センター（パシオン）の入口で記念撮影

酪農家の1日

酪農家は早朝から大忙し。5時前に起床し8時すぎまで朝の仕事が続きます

- えさやり
牧場で自家栽培の粗飼料とグリーンコープ指定の飼料を配合して与える
- 牛床の掃除
- 搾乳
- 子牛にミルクを飲ませる
- 敷き藁の取り替え
- 生乳の出荷

昼間、牧場の仕事がない時も、できるだけ牛舎にるようにしています

- 牛たちの健康チェック
- 堆肥の手入れ

夕方、もう一度搾乳します

- 牛床の掃除
- えさやり
- 搾乳
- 翌日の用意



帝王切開で出産後、座り込む牛。回復に時間がかかる



搾乳前の乳頭の消毒



搾乳機を取り付けて搾乳する



対面式での、クイズ形式の学習会。元気に手が挙がる

Q. 牛は何歳まで生きるの？

A. 本来牛の寿命は20年といわれているけれども、妊娠、出産を繰り返し、お乳を出し続けるホルスタイン種の乳牛は、約7年でその役割を終えます。

旭志の生産者の方による子ども料理教室のようす ～ホームステイ中の子どもたちを招いて～



▲牛乳とヨーグルトのデザート作り。生地を流し込んだり、フルーツを入れたり、数人で手分けしながらの作業

2日目の昼食用のカレー作り。目にしみる玉ねぎに悪戦苦闘

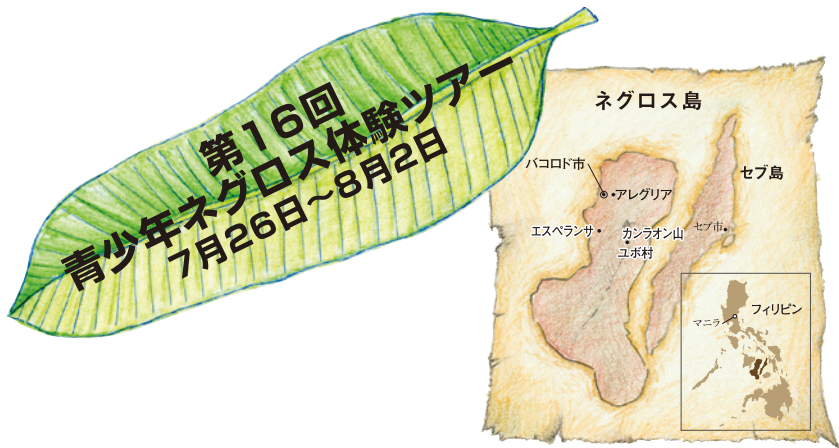


食べ終わったえさを集める

未来の子どもたちに
伝えたいこと

今回の3日間は、時折激しい雨に見舞われた。2日目には、自分の役割やすべきこと、作業などを進んで担うたのもしい姿も見られた。自然と生きもの相手の難しさは、現場を見て肌で感じることでひとつの体験として、子どもたちの身体にも沁みこんでいるようだ。緊張で固かった初日の表情から一変、最終日には、笑顔がはじけた満足そうな子どもたちの表情がそろった。

参加した子どもたちは、びん牛乳のふるさとで搾りたての温かい生乳に触れ、生産者の大変さを間近に感じる事が出来、貴重な経験となったようだ。



ネグロスの人たちの考え方に たくさんのかことを学んだ



現地の子どもたちが歓迎の意を込めて、ネグロスの歴史を劇で披露



宿泊したカネシゲファーム・ルルーキキャンパスでのワークシヨップの様子



ラ・グラン八高校で現地の子どもたちと一緒に劇を発表



みんなで力を合わせて 一つの事を成し遂げる すばらしさを実感

グリーンコープ生協くまもと 久米田 真季くん(高3)

僕は、出発する前、正直行きたいという気持ちもありましたが不安もありました。不安というのは、初めての海外だし、自分は、恥ずかしがり屋なので周りの人達にとかめるか心配でした。一緒にネグロスに行く日本の人達とは、何とかとけこめました。ネグロスへ行く前日は、不安でいっぱいでした。不安を抱えながらネグロスへ到着するとネグロスジープニーという乗り物にのり、言葉はわからないけど楽しく交流しながら移動できました。農業体験等は、悪天候で出来ませんでした。数々のワークシヨップを重ねネグロスの子達とどんな仲良くなったか。そして、ネグロスの高校で劇をする事になりました。みんなで力を合わせて夜遅くまで練習しました。ですが次の日高校へ行くとした。ただ周りの人達

や先生などが集まってくれてその人達の前で劇を披露しました。劇が終わった時、みんなで力を合わせて一つの事を成し遂げるすばらしさを実感しました。その日に、劇が成功した祝いにパーティーをしました。一人一人ペアになり仮装しました。本当に楽しかったです。次の日みんなとお別れとわかっていたのでみんな夜遅くまで騒ぎました。次の日みんなと別れた日です。本当に涙と笑顔が入り交じった別れになりました。ネグロスツアーに行つてよかったと本当に思います。別れは、辛かったです。本当に行つて良かったです。ネグロスの友達とは、今でも毎日のように連絡を取っています。本当に良い体験をさせてもらって関係者の方々に感謝しています。ありがとうございます。

グリーンコープの「南と北の共生」の取り組みの一環として16回目を迎える青少年ネグロス体験ツアー。参加した子どもたちからは毎回、フィリピン・ネグロスの同世代の青少年と共に時間を過ごし、共同作業を通して友情と信頼が芽生えていく様子が報告されています。

今年も11人(ふくおか3人、くまもと5人、かごしま2人、みやざき1人)が参加しました。子どもたちの報告を紹介します。



セミナーハウス前で

今回のネグロスツアーでは貴重な経験をし、学ぶ事が多かったです。その中で自分が感銘を受けたのはネグロスの人達の考え方です。ネグロスの人達は自分がどんなに辛くとも周囲の人を一番に考えています。そして今が苛酷な状況だとしても決して逃げたりしません。愚痴も言わずに前向きに努力し続けていました。自分は勉強でも部活でも、きつい事があるとその事に背を向けてました。ですが、ネグロスの人達と出会い、その考えを聞いて、このままでは何も変わらない。良くするにはきつい事を乗り

きつい事を乗り越えないといけないと気づいた



グリーンコープ生協くまもと 手島 由理さん(高2)

越えないといけないのだと気づかされました。ネグロスの人達を見習って、自分も人のために努力する。今の状況から逃げ出さずにやりとげていこうと心に誓いました。最後に、このツアーに参加させてくれた両親。優しく接してくれたネグロスや日本のツアーの人達。その他いろんな人の援助があったからこそ自分はツアーで良い経験をする事ができました。ネグロスツアーで学んだ事をしっかりとこれからの人生に役立てていこうと思います。本当にありがとうございました。

参加者全員が手形とサインをした横断幕を囲んで





産直びん牛乳は 「生命を育む食べもの」そのもの

グリーンコープ生協ふくおか
牛乳学習会

2012年6月27日



牛乳の見直しが始まったのは1980年。当時グリーンコープの前身生協では120℃2秒殺菌の成分無調整牛乳でした。「牛乳は沸騰させたらダメって言うのに、なぜ120℃殺菌なの？」という母親としての素朴な疑問から「生乳に近いおいしい牛乳を子どもたちに飲ませたいね」と、パスチャライズ牛乳への挑戦が始まりました。パスチャライズ殺菌とは、チフス菌や結核菌などは死滅し、水

不可能と言われた
パスチャライズ殺菌



グリーンコープ生協くももと組
篠原 晴美さん

ノンホモパスチャライズ牛乳の検討・開発に携わった。その過程で「生産者にタオルを贈る取り組み」の開始にも関わる

7年の時をかけて開発した
ノンホモパスチャライズ牛乳

産直びん牛乳は、組合員の願いに生産者とメーカーが応え気持ちを一つにつくった、グリーンコープを代表する商品です。びん牛乳が誕生するまでの道のり、こだわり、よさを学び、再認識するための学習会が、ふくおかの福岡地域理事会の主催で開催されました。

学習会では、ノンホモパスチャライズ牛乳開発に携わった組合員から当時の話を聞き、参加者一同、あらためて産直びん牛乳に込められた組合員の思いと、その素晴らしさを実感しました。

パス牛乳の完成品として
ノンホモ牛乳を開発

1984年ヨーロッパを

た。それに伴い殺菌温度も85℃、75℃と一歩ずつ下げていき、1985年、72℃15秒のパスチャライズ殺菌にたどり着きました。

当時は乳質が悪く細菌が多かったため、100℃以下の殺菌は無理と言われていました。この時にあきらめていたら、今の牛乳はなかったと思います。私たちは生産者の方々と何度も交流して、「いい牛乳をつくってください」とお願いし、タオルを贈り牛の乳房を清潔に拭いてもらう取り組みもしました。生産者の方々も一生懸命応えてくれ、乳質は少しずつ改善されました。それに伴い殺菌温度も85℃、75℃と一歩ずつ下げていき、1985年、72℃15秒のパスチャライズ殺菌にたどり着きました。

溶性カルシウムやホエータンばくなどの牛乳成分はそのままの形で残る殺菌方法です。

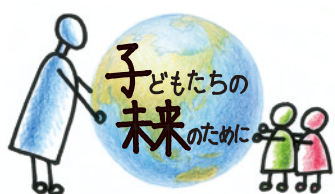


視察した際に飲んだ牧場の牛乳の味に感激し、健康な牛から搾っただけの生乳が一番おいしいことを実感しました。より生乳の風味が生きる、脂肪球を均質化しないノンホモ牛乳を実現したいと思いました。メーカー（当時は熊本乳業）では工場のラインを見直すことから始めました。ノンホモ牛乳は静置すると脂肪球が浮いてクリームラインがでますが、最初のサンプリングはバターのようなベタベタしたものでした。改良を重ねテストを何度も繰り返し、ようやくきれいなクリームラインのノンホモパスチャライズ牛乳が完成した時には、うれしくて涙が出ました。

組合員の思いが
いっぱい詰まった牛乳

その後、1998年には母牛の飼料をnon-GMO（遺伝子組み換えでない）に変更、2003年にはびん容器化が実現。グリーンコープの産直牛乳はずっと成長し続けてきました。

産直びん牛乳は、生産者との関係、品質、価格（この内容でこの価格はほかにありません）において、日本一だと思っています。組合員と生産者、メーカーが一体となってつくった牛乳のよさを、多くの人に自信を持って伝えていってください。



No.49

「放射能のゴミ」

原子力発電所からは放射性物質である核のゴミが出ます。核のゴミは、日頃私たちの出すゴミと大きく違い、環境や生きものに悪影響を与え続ける危険なものです。

生み出された核のゴミは、この地球上のどこにも捨てることが出来ず行き場を失っています。近年、最終処理場が大きな問題となっています。放射性物質は、地下深くに処分したとしても、何万年も安全に管理し続けなければなりません。私たちはこれ以上核のゴミを増やさないために、原発の稼働を止める等、私たち一人ひとりが声をあげていくことが大事だと考えます。

この状況は私たち大人がつくり出したもので、子どもたちには何の責任もありません。責任のない子どもたちをだれが守るのか！このような問題のある原発はもう必要ないと思います。

参考文献： 小出裕章著「子どもたちに伝えたい・原発が許されない理由」

グリーンコープ共同体組織委員会

毎日2回の搾乳作業、エサやりや掃除と、牛乳生産者は毎日忙しい日々です。その中で牛の健康管理は乳量や品質に影響する大切な仕事です。1998年にnon-GMOの飼料に変えたときは、牛にとっても負担が大きく、乳量が減ったりと大変でしたが、生産者の努力の甲斐あって、今では安定しています。

生産の現場から



らくのうマザーズ
(熊本県酪農業協同組合連合会)
檜垣 英子さん

らくのうマザーズは生産者から原乳を集めびん牛乳工場にミルクローリー(牛乳専用運搬車)で運搬。生産者とグリーンコープをつなぐ役目を担っている

投稿募集中

わが家のエコ
私の好きな
グリーンコープ商品

●400字程度
●月切 毎月末
●住所・氏名・年齢・TEL・所属生協名を明記して郵送またはFAX、Eメールでお送りください。掲載分には図書カード(500円分)進呈。
●住所・氏名などの組合員の個人情報は、本紙に掲載の場合のみ使用します。
〒812-8561
福岡市博多区博多駅前1丁目5-1
ヒューリック博多ビル3F
グリーンコープコミュニケーションワーカーズ連(REN)「共生の時代」編集部 宛
FAX 092-481-7876
Eメールアドレス rikoho@greencoop.or.jp

びん化に向けての組合員検討の様子や取り組み

福岡中央支部
委員長
堀川 弘恵さん



2003年紙パックからびん容器へ移行するにあたって、組合員のつどいなどでびん牛乳誕生をアピールし、専用工場をつくるための「みるく出資金」の呼びかけをしました。びん牛乳誕生時には、キャラバン隊や試飲会など、1本でも多く飲んでもらうために、ありとあらゆることに取り組みました。

びん牛乳工場から



(株)雪印メグミルク
八重樫 毅さん

グリーンコープのびん牛乳専用工場は、グリーンコープのみなさんと1年以上検討していっしょにつくり上げた工場です。

パスチャライズという低い温度の殺菌に耐えうる衛生管理、低温管理を徹底した工程をつくり、良質な原乳を自然に近い形で皆さんにお届けしています。



「これまでたくさんの人と出会いました。大きな財産だと思います」と加藤さん。米子市男女共同参画センター「かぶりあ」で

誰もがイキイキと暮らせる社会をつくりたい

いま地域を考える

No.227

加藤洋子さん(グリーンコープ生協とっとり組合員)は、鳥取県米子市で米子子ども劇場や男女共同参画推進会議米子、米子市文化協議会などの活動に精力的に取り組んでいます。活動の様子や思いを聞きました。

親子で楽しみ、子どもの感性を育てる活動に共感

加藤さんが結婚したのは、1975年。嫁いだ先は4世代同居の大家族。明治生まれの夫の祖母はとても厳しい人で、子どもたちに粗相がないように気遣う毎日だった。そんな時「米子子ども劇場」のポスターが目にとまった。観劇や音楽が大好きなことから、子どもも楽しんで自分も息抜きができると思い、長女が4歳の時に会員になった。忙しくても親が子どもといっしょに観劇し、クリスマス会などの行事を楽しむことで親子関係を築き、多くの仲間たちと子どもの感性を豊かに育てることも劇場の活動に加藤さんは魅せられた。

子どもたちがこども劇場を卒業しても会員として活動が続け、約33年が経つ。現在、事務局長を担っているが、ネット世代の若いお母さんたちの志向や行動を理解するには苦労する。良い舞台や音楽を生で鑑賞し、親子で感動を共有し語り合うことが、子どもに「あなたにかけがえのない存在」と伝え続けられる、他に替

え難い体験だと加藤さんは思っている。その思いを子育て渦中のお母さんたちに伝えるためには、同世代のお母さんが活動の中心になることも必要だと感じる。こども劇場の事務局長は今年度で辞め、今後は会員としての協力を続けたい。

男も女も対等な立場で生きていけるように

1995年、男女共同参画をすすめる活動などに取り組んでいた姉の影響もあり、若干野次馬的に北京で開催された世界女性会議に参加した。イキイキと活動する世界中の女性たちに魅せられ、1997年には、岡山市で開催された日本女性大会に参加。そこで聴いた上野千鶴子さんの話は、まさに目からうろこ、その後の生き方に大きな影響を及ぼすものだった。結婚後、「加藤の嫁さん」「○○ちゃんのおかあさん」と呼ばれることに大きな違和感を持つていた。それは、夫に帰属した私ではなく、自立した個人としての私に対するこだわりだったのだと気付いた。

実家は運送会社を営む。

母は父のパートナーとして事業にかかわっていた。両親は子どもたち3人を呼び捨てにはせず、名前を大切にしていた。思えば、男女が互いに尊重することや一人ひとりを個人として大切にすることを学びながら育ってきたのだ。

日本女性大会直後に男女共同参画推進会議米子に参加した。誰もが人としての自尊心や人権意識を持てる社会を広げていきたいと思いついて活動している。現在は男女共同参画推進会議米子の会長。米子市男女共同参画センター「かぶりあ」の運営にも携わっている。

風船で放射性物質の飛散状況を調べる

2011年7月、男女共同参画推進会議米子が参加している米子市女性団体連絡協議会で女性大会を開催し、「3・11東日本大震災から学ぶ女性と災害」という公開討論会に取り組んだ。米子市は中国電力島根原発から30km圏内。討論会を受けて、原発問題を身近に引き寄せて考えていくために、2012年3月と6月に風船を飛ばし放射性物質

の飛散状況の調査に取り組んだ。調査の結果、島根原発から400km以上離れた地点まで影響があることが分かった。9月と12月にも取り組む予定だ。調査結果をどういう形で市民に公開するか現在検討している。原発事故と自分たちの暮らしのあり方を一人ひとりがしっかりと考え実践していけるように、地道に取り組んでいきたいと加藤さんは考えている。

多彩な活動

現在加藤さんが関わっている活動は、5本の指では足りない。患者となったとき、納得のいく医療を受けることができるようになることがテーマの「米子患者塾」に関わって10年。他には米子市公会堂の存続運動にも取り組み、存続を実現することができた。これからはその活用に取り組んでいく。毎年開催されている米子市女性大会で行う映画会の準備も急いでいる。

「よく人に、加藤さんの活動は何か中心なのと尋ねられるんです。答えるのにちょっと考えちゃうけれど、大きな軸は、こども劇場と男女共同参画だと思います」と笑う。

どんな活動にも中心になる人が必要だ。加藤さんは求められれば、惜しみなく時間を割き、気持ちよく応じてきた。その明るい人柄に人が集まり輪が広がる。二人ひとりが自覚して動き出した時、社会は変わっていくんだと思うんです。楽しみながらも精力的に加藤さんの活動は続く。

※社会学者。専門は家族社会学、ジェンダー論など。東京大学名誉教授



情報だけに頼らず、自分たちで実践することが大切。風船を飛ばすために30人あまりの人が集まった

2012年8月18日までに集まった支援募金額
26,858,900円

支援金は、2012年7月の豪雨によって大きな被害を受けた北部九州の産直生産者や取引先、被災した組合員及び地域の皆さんのために活用します。また、救援・復興に取り組むボランティアも支援します。

**被害を受けた生産者を応援するために
注文をし続け、利用を広げよう!**

グリーンコープの産直産地も福岡南部、熊本北部、大分など大きな被害を受けました。産地は畑が冠水したり、作物が流されたり病気や傷みが発生するなど大変な状況でした。そうした被害の中、生産者は懸命にがんばっています。生産者を支えるためにも注文をし続けましょう。

7月の九州北部豪雨で
被害を受けた皆さんへの
支援募金のご協力
ありがとうございました

2012年7月の組合員数 384756人

(7/20現在)

リユース リサイクル データ 2012年6月分	牛乳びん 回収本数 673,606本 回収率 98.8% (5月20日～6月16日回収分)	フードマイレージ 2009年9月から2012年7月までに組合員の利用によってたまったのは 188,472,688.9 poco CO2に換算して18,847トン削減したことになります
リユースびん 回収本数 154,964本 回収率 51.8%	トレー 回収重量 9,785kg 回収率 48.1%	アジア民衆基金 2009年4月から2012年7月までに組合員の利用によってたまったのは 24,647,082円
モールドバック 回収重量 29,820kg 回収率 104.2%	仕分け袋 回収重量 1,662kg 回収率 9.7%	

放射能汚染測定結果は、別紙の残留放射能検査結果に掲載しています。

みどりの地球をみどりのままで…

共生の時代

別紙

●発行 グリーンコープ共同体理事会

●編集 共生の時代・編集部

〒812-8561 福岡市博多区博多駅前一丁目5番1号

ヒューリック博多ビル3階

●電話 (092) 481-7923 ●FAX (092) 481-7876

●ホームページ : <http://www.greencoop.or.jp/>

放射能汚染と向きあう
(放射能測定室より)

東京電力の原子力発電所の事故を受けて行った残留放射能検査結果⑩

2012年7月18日から8月7日までに検査した92品目の内、乾し椎茸3品目から残留放射能の検出が認められました。結果は「細切しいたけ」(No.1329) 1品目が10ベクレルを超え、「しいたけどんこ(中小玉)」(No.1331)、「国内産冬茹椎茸(どんこ)」(No.1301)の2品目は10ベクレル未満でした。

なお、乾物検査で10ベクレルを超えた「細切しいたけ(乾物)」については、水戻しでの検査も行っており、結果は10ベクレル未満でした。グリーンコープ共同体理事会(8月1日開催)で検討して、乾物と水戻しの両方の結果を公表した上で商品をお届けすることを確認しました。

乾し椎茸などの乾燥食品に関する国の基準は、水戻しの状態で100ベクレル/kg未満となっていますが、グリーンコープでは乾物と水戻しの両方の測定結果を以って取り扱いを検討するとともに、公表することとしています。

※「検出限界値」とは、放射能検査において測定できる最小値のことをいいます。放射能の特性として、同じ機器で測定しても検体ごとに検出限界値は変動します。

※検査法の記号「Ge」はゲルマニウム半導体検出器での測定であることを示しています。「[Na]」はNaIシンチレーションスペクトロメータでの測定であることを示しています。

番号	商品分類		商 品 名	原料産地	製造地	製造日・収穫日等	測定日	検査法 (Ge/NaI)	ヨウ素-131		セシウム-134		セシウム-137	
									結果 (Bq/kg)	検出限界値 (Bq/kg)	結果 (Bq/kg)	検出限界値 (Bq/kg)	結果 (Bq/kg)	検出限界値 (Bq/kg)
1375	1	米	産地指定米こしいぶき[玄米](佐渡農協)	新潟県佐渡市	佐賀県鳥栖市	2011年10月収穫	2012/8/6	Ge	検出せず (検出限界値未満)	0.82	検出せず (検出限界値未満)	0.89	検出せず (検出限界値未満)	1.04
1357	1	米	産直赤とんぼAひのひかり[玄米] (にじ農協赤とんぼ田主丸)	福岡県うきは市	福岡県小都市	2011年10月収穫	2012/8/2	Ge	検出せず (検出限界値未満)	0.81	検出せず (検出限界値未満)	0.81	検出せず (検出限界値未満)	0.76
1348	1	米	産直赤とんぼBきめむすめ[玄米](やすぎ農協)	島根県安来市	福岡県小都市	2011年9～10月収穫	2012/8/1	Ge	検出せず (検出限界値未満)	0.93	検出せず (検出限界値未満)	0.74	検出せず (検出限界値未満)	1.14
1341	1	米	産直赤とんぼBひのひかり[玄米](上益城農協清和)	熊本県上益城郡	福岡県小都市	2011年10月収穫	2012/7/31	Ge	検出せず (検出限界値未満)	0.85	検出せず (検出限界値未満)	0.88	検出せず (検出限界値未満)	1.14
1336	1	米	産直赤とんぼB米沢郷こしひかり[玄米](米沢郷牧場)	山形県東置賜郡	佐賀県鳥栖市	2011年10月収穫	2012/7/30	Ge	検出せず (検出限界値未満)	0.95	検出せず (検出限界値未満)	1.02	検出せず (検出限界値未満)	1.10
1335	1	米	産地指定米こしひかり[玄米](福島県みずほ農園)	福島県河沼郡	福岡県小都市	2011年9月収穫	2012/7/30	Ge	検出せず (検出限界値未満)	0.87	検出せず (検出限界値未満)	0.92	検出せず (検出限界値未満)	1.08
1318	1	米	産地指定米魚沼こしひかり[玄米](越後おぢや農協小千谷)	新潟県小千谷市	福岡県小都市	2011年9月収穫	2012/7/26	Ge	検出せず (検出限界値未満)	0.95	検出せず (検出限界値未満)	0.98	検出せず (検出限界値未満)	1.17
1314	1	米	産地指定米あきたこまち[玄米](おものかわ農協)	秋田県横手市	佐賀県鳥栖市	2011年9月収穫	2012/7/25	Ge	検出せず (検出限界値未満)	0.91	検出せず (検出限界値未満)	0.68	検出せず (検出限界値未満)	0.97
1305	1	米	産地指定米こしひかり[玄米](富山県みな穂農協)	富山県新下川郡	佐賀県鳥栖市	2011年9月収穫	2012/7/23	Ge	検出せず (検出限界値未満)	0.75	検出せず (検出限界値未満)	0.87	検出せず (検出限界値未満)	1.22
1303	1	米	産地指定米こしいぶき[玄米](新潟県佐渡農協)	新潟県佐渡市	佐賀県鳥栖市	2011年9月収穫	2012/7/23	Ge	検出せず (検出限界値未満)	0.84	検出せず (検出限界値未満)	0.87	検出せず (検出限界値未満)	1.13
1387	2	青果	産直長野スイートコーン(ながの農協信濃町支部)	長野県上水内部	原料産地に同じ	2012/8/2収穫	2012/8/7	Ge	検出せず (検出限界値未満)	0.93	検出せず (検出限界値未満)	1.05	検出せず (検出限界値未満)	1.12
1386	2	青果	産直巨峰(めぐみの会)	福岡県うきは市	原料産地に同じ	2012/8/5収穫	2012/8/7	Ge	検出せず (検出限界値未満)	0.88	検出せず (検出限界値未満)	0.91	検出せず (検出限界値未満)	1.07
1379	2	青果	産直玉ねぎ(グリーンあさくら)	福岡県朝倉市	原料産地に同じ	2012/5/30収穫	2012/8/6	Ge	検出せず (検出限界値未満)	1.15	検出せず (検出限界値未満)	1.09	検出せず (検出限界値未満)	1.69
1377	2	青果	産直人参(有機農法すずらん会)	北海道河西郡	原料産地に同じ	2012/7/31収穫	2012/8/6	Ge	検出せず (検出限界値未満)	0.93	検出せず (検出限界値未満)	1.11	検出せず (検出限界値未満)	1.32
1376	2	青果	ジュース用(加工用)トマト(ながの農協信濃町支部)	長野県上水内部	原料産地に同じ	2012/8/2収穫	2012/8/6	Ge	検出せず (検出限界値未満)	0.78	検出せず (検出限界値未満)	0.96	検出せず (検出限界値未満)	1.05
1374	2	青果	産直梨(幸水)(日野農園)	福岡県朝倉市	原料産地に同じ	2012/7/30収穫	2012/8/3	Ge	検出せず (検出限界値未満)	0.70	検出せず (検出限界値未満)	0.88	検出せず (検出限界値未満)	0.98
1372	2	青果	産直紅伊豆(佐伊津有農研)	熊本県天草市	原料産地に同じ	2012/7/31収穫	2012/8/3	Ge	検出せず (検出限界値未満)	0.79	検出せず (検出限界値未満)	1.06	検出せず (検出限界値未満)	1.13
1371	2	青果	産直梨(幸水)(八女の郷)	福岡県筑後市	原料産地に同じ	2012/7/30収穫	2012/8/3	Ge	検出せず (検出限界値未満)	0.72	検出せず (検出限界値未満)	0.77	検出せず (検出限界値未満)	0.83
1370	2	青果	産直デラウェア(やまなし自然塾)	山梨県甲州市	原料産地に同じ	2012/7/27収穫	2012/8/3	Ge	検出せず (検出限界値未満)	0.79	検出せず (検出限界値未満)	0.84	検出せず (検出限界値未満)	1.14
1369	2	青果	産直パフリカ(ながの農協飯綱)	長野県上水内部	原料産地に同じ	2012/7/30収穫	2012/8/3	Ge	検出せず (検出限界値未満)	1.05	検出せず (検出限界値未満)	1.09	検出せず (検出限界値未満)	1.34
1362	2	青果	産直玉ねぎ(吾妻有研)	長崎県雲仙市	原料産地に同じ	2012/6/4収穫	2012/8/2	Ge	検出せず (検出限界値未満)	0.95	検出せず (検出限界値未満)	1.07	検出せず (検出限界値未満)	1.18
1361	2	青果	産直カラーピーマン(八女の郷)	佐賀県杵島郡	原料産地に同じ	2012/7/30収穫	2012/8/2	Ge	検出せず (検出限界値未満)	1.12	検出せず (検出限界値未満)	1.32	検出せず (検出限界値未満)	1.37
1360	2	青果	産直巨峰(ヤマモグループ)	福岡県うきは市	原料産地に同じ	2012/7/29収穫	2012/8/2	Ge	検出せず (検出限界値未満)	0.67	検出せず (検出限界値未満)	0.86	検出せず (検出限界値未満)	0.81
1356	2	青果	産直ブルーン(早生種)(ハクタ会)	長野県長野市	原料産地に同じ	2012/7/27収穫	2012/8/1	Ge	検出せず (検出限界値未満)	0.88	検出せず (検出限界値未満)	0.99	検出せず (検出限界値未満)	0.90
1355	2	青果	産直ブラックオリンピア(綾照葉会)	宮崎県東諸県郡	原料産地に同じ	2012/7/31収穫	2012/8/1	Ge	検出せず (検出限界値未満)	0.91	検出せず (検出限界値未満)	1.08	検出せず (検出限界値未満)	0.94
1352	2	青果	産直カラーピーマン(糸島BM農法研究会)	福岡県糸島市	原料産地に同じ	2012/7/25収穫	2012/8/1	Ge	検出せず (検出限界値未満)	1.24	検出せず (検出限界値未満)	1.36	検出せず (検出限界値未満)	1.32
1351	2	青果	産直梨(幸水)(JA上益城)	熊本県上益城郡	原料産地に同じ	2012/7/30収穫	2012/8/1	Ge	検出せず (検出限界値未満)	0.82	検出せず (検出限界値未満)	0.95	検出せず (検出限界値未満)	0.95
1350	2	青果	産直梨(幸水)(アグリネット)	熊本県玉名郡	原料産地に同じ	2012/7/30収穫	2012/8/1	Ge	検出せず (検出限界値未満)	0.74	検出せず (検出限界値未満)	1.04	検出せず (検出限界値未満)	1.28
1349	2	青果	産直梨(幸水)(藤田農園)	佐賀県小城市	原料産地に同じ	2012/7/30収穫	2012/8/1	Ge	検出せず (検出限界値未満)	1.28	検出せず (検出限界値未満)	1.52	検出せず (検出限界値未満)	1.43
1340	2	青果	産直梨(幸水)(めぐみの会)	福岡県朝倉郡	原料産地に同じ	2012/7/30収穫	2012/7/30	Ge	検出せず (検出限界値未満)	0.99	検出せず (検出限界値未満)	1.20	検出せず (検出限界値未満)	1.08
1339	2	青果	産直長野ミニトマト(イエロー)(ながの農協信濃町支部)	長野県上水内部	原料産地に同じ	2012/7/26収穫	2012/7/30	Ge	検出せず (検出限界値未満)	0.79	検出せず (検出限界値未満)	1.03	検出せず (検出限界値未満)	1.13
1337	2	青果	産直長野トマト(ながの農協信濃町支部)	長野県上水内部	原料産地に同じ	2012/7/26収穫	2012/7/30	Ge	検出せず (検出限界値未満)	0.71	検出せず (検出限界値未満)	0.99	検出せず (検出限界値未満)	1.06
1326	2	青果	産直角オクラ(島根おやさい本舗)	島根県安来市	原料産地に同じ	2012/7/25収穫	2012/7/26	Ge	検出せず (検出限界値未満)	1.05	検出せず (検出限界値未満)	1.29	検出せず (検出限界値未満)	1.60
1321	2	青果	産直さつまいも(白系)(綾葉会)	宮崎県東諸県郡	原料産地に同じ	2012/7/19収穫	2012/7/26	Ge	検出せず (検出限界値未満)	0.96	検出せず (検出限界値未満)	1.30	検出せず (検出限界値未満)	1.32
1317	2	青果	産直ネクタリン(信濃五岳会)	長野県小布施市	原料産地に同じ	2012/7/18収穫	2012/7/25	Ge	検出せず (検出限界値未満)	0.79	検出せず (検出限界値未満)	0.80	検出せず (検出限界値未満)	0.88
1315	2	青果	産直ごぼう(綾葉会)	宮崎県東諸県郡	原料産地に同じ	2012/7/4収穫	2012/7/25	Ge	検出せず (検出限界値未満)	0.94	検出せず (検出限界値未満)	1.28	検出せず (検出限界値未満)	1.09
1313	2	青果	産直れんこん(やまびこ会)	熊本県宇城市	原料産地に同じ	2012/7/18収穫	2012/7/24	Ge	検出せず (検出限界値未満)	0.82	検出せず (検出限界値未満)	1.14	検出せず (検出限界値未満)	0.81
1312	2	青果	産直さつま芋(赤系)(佐伊津有農研)	熊本県天草市	原料産地に同じ	2012/7/18収穫	2012/7/24	Ge	検出せず (検出限界値未満)	0.96	検出せず (検出限界値未満)	1.00	検出せず (検出限界値未満)	1.42
1311	2	青果	産直玉ねぎ(みのり会)	佐賀県東松浦郡	原料産地に同じ	2012/7/10収穫	2012/7/24	Ge	検出せず (検出限界値未満)	0.98	検出せず (検出限界値未満)	1.06	検出せず (検出限界値未満)	1.25
1310	2	青果	産直ごぼう(産直なごみ)	熊本県菊池市	原料産地に同じ	2012/7/16収穫	2012/7/24	Ge	検出せず (検出限界値未満)	1.05	検出せず (検出限界値未満)	1.36	検出せず (検出限界値未満)	1.36
1309	2	青果	産直みょうが(黒木有機農業の会)	福岡県八女市	原料産地に同じ	2012/7/20収穫	2012/7/23	Ge	検出せず (検出限界値未満)	1.67	検出せず (検出限界値未満)	1.97	検出せず (検出限界値未満)	2.21
1306	2	青果	産直みょうが(御岳会)	熊本県上益城郡	原料産地に同じ	2012/7/18収穫	2012/7/23	Ge	検出せず (検出限界値未満)	0.73	検出せず (検出限界値未満)	0.80	検出せず (検出限界値未満)	1.08
1302	2	青果	産直すもも(ソルダム)(めぐみの会)	福岡県朝倉市	原料産地に同じ	2012/7/16収穫	2012/7/20	Ge	検出せず (検出限界値未満)	0.64	検出せず (検出限界値未満)	0.79	検出せず (検出限界値未満)	0.93
1380	3	牛乳・乳製品	赫山ジャージーヨーグルト草原のかがやき	(牛乳)岡山県真庭市	原料産地に同じ	2012/7/29製造	2012/8/6	Ge	検出せず (検出限界値未満)	0.84	検出せず (検出限界値未満)	1.00	検出せず (検出限界値未満)	0.75
1365	3	牛乳・乳製品	プレーンヨーグルト(マイルド)	(牛乳)熊本県菊池地域	熊本県熊本市	2012/7/30製造	2012/8/2	Ge	検出せず (検出限界値未満)	0.86	検出せず (検出限界値未満)	0.80	検出せず (検出限界値未満)	0.99
1364	3	牛乳・乳製品	プレーンヨーグルト	(牛乳)熊本県菊池地域	熊本県熊本市	2012/7/30製造	2012/8/2	Ge	検出せず (検出限界値未満)	0.86	検出せず (検出限界値未満)	1.03	検出せず (検出限界値未満)	0.93

番号	商品分類	商 品 名	原料産地	製造地	製造日・収穫日等	測定日	検査法 (Ge/NaI)	ヨウ素－131		セシウム－134		セシウム－137	
								結果 (Bq/kg)	検出限界値 (Bq/kg)	結果 (Bq/kg)	検出限界値 (Bq/kg)	結果 (Bq/kg)	検出限界値 (Bq/kg)
1346	3	牛乳・乳製品	生乳たっぷりヨーグルト	(牛乳) 熊本県菊池地域	福岡県福岡市	2012/7/29製造	2012/7/31	Ge 検出せず (検出限界値未満)	0.70	検出せず (検出限界値未満)	0.81	検出せず (検出限界値未満)	0.95
1342	3	牛乳・乳製品	ホワイトヨーグルト	(牛乳) 山口県	山口県下関市	2012/7/28製造	2012/7/31	Ge 検出せず (検出限界値未満)	0.82	検出せず (検出限界値未満)	0.84	検出せず (検出限界値未満)	1.17
1333	5	たまご	国産穀物を使った産直たまご(嘉穂の里農場)	福岡県飯塚市	原料産地に同じ	2012/7/19集卵	2012/7/27	Ge 検出せず (検出限界値未満)	0.73	検出せず (検出限界値未満)	1.01	検出せず (検出限界値未満)	0.92
1316	5	たまご	産直たまご(庄村養鶏場)	熊本県宇城市	原料産地に同じ	2012/7/22集卵	2012/7/25	Ge 検出せず (検出限界値未満)	0.90	検出せず (検出限界値未満)	0.87	検出せず (検出限界値未満)	0.70
1308	5	たまご	国産穀物を使った産直たまご(ヨコテ)	福岡県糸島市	原料産地に同じ	2012/7/18集卵	2012/7/23	Ge 検出せず (検出限界値未満)	0.86	検出せず (検出限界値未満)	1.00	検出せず (検出限界値未満)	1.07
1325	6	牛肉	国産牛小間切(矢野畜産)	熊本県	熊本県熊本市	2012/7/23製造	2012/7/26	Ge 検出せず (検出限界値未満)	0.84	検出せず (検出限界値未満)	0.94	検出せず (検出限界値未満)	0.89
1322	6	牛肉	国産牛小間切(イサミ)	青森、北海道、兵庫県	岡山県勝田市	2012/7/16製造	2012/7/26	Ge 検出せず (検出限界値未満)	0.81	検出せず (検出限界値未満)	0.89	検出せず (検出限界値未満)	1.06
1383	8	鶏肉	若鶏正肉モモ	福岡県田川郡	山口県山口市	2012/7/4製造	2012/8/7	Ge 検出せず (検出限界値未満)	0.82	検出せず (検出限界値未満)	0.79	検出せず (検出限界値未満)	0.91
1368	10	魚介類・水産物製品	北海七鮮漬(海鮮丼の具)	(昆布) 北海道道南沖(つぶ貝) 北海道道東沖(いくら) 北海道オホーツク海(はたて) 北海道オホーツク海(うに) 北海道日本海(数の子) 北海道石狩沖(ベニズワイガニ) 北海道日本海	茨城県神栖市	(昆布) 2011年6～7月(つぶ貝) 2012年1～3月(いくら) 2011年9～11月(はたて) 2011年4～7月(うに) 2012年6～9月(数の子) 2012年1～3月(ベニズワイガニ) 2011年9月～2012年2月水場	2012/8/3	Ge 検出せず (検出限界値未満)	0.89	検出せず (検出限界値未満)	1.00	検出せず (検出限界値未満)	0.97
1345	10	魚介類・水産物製品	刺身用はたて貝柱(特大)	北海道野付郡	茨城県神栖市	2011年5～6月採取	2012/7/31	Ge 検出せず (検出限界値未満)	0.83	検出せず (検出限界値未満)	1.04	検出せず (検出限界値未満)	1.09
1343	10	魚介類・水産物製品	北海道産子持ちししゃも	北海道太平洋沖	茨城県神栖市	2011年10～11月水場	2012/7/31	Ge 検出せず (検出限界値未満)	0.67	検出せず (検出限界値未満)	0.82	検出せず (検出限界値未満)	0.90
1334	10	魚介類・水産物製品	氷温乾燥きんき開き	北海道オホーツク海	北海道旭川市	2012年6月中旬水場	2012/7/27	Ge 検出せず (検出限界値未満)	0.84	検出せず (検出限界値未満)	0.81	検出せず (検出限界値未満)	1.09
1327	10	魚介類・水産物製品	ガンガゼうにの味噌(冷凍)	(ガンガゼうに) 長崎県平戸市、鹿児島県指宿市	長崎県杵岐市	(ガンガゼうに) 2010年11月～12月、2011年10月漁獲	2012/7/27	Ge 検出せず (検出限界値未満)	1.38	検出せず (検出限界値未満)	1.81	検出せず (検出限界値未満)	1.62
1304	11	茶・その他飲料	蘇陽茶	熊本県阿蘇市	福岡県福岡市	2012/7/13製造	2012/7/23	Ge 検出せず (検出限界値未満)	1.25	検出せず (検出限界値未満)	1.30	検出せず (検出限界値未満)	1.73
1300	11	茶・その他飲料	抹茶入り煎茶	—————	福岡県福岡市	2012/7/13製造	2012/7/20	Ge 検出せず (検出限界値未満)	1.26	検出せず (検出限界値未満)	1.34	検出せず (検出限界値未満)	1.48
1385	12	冷蔵加工品	こだわりのロースハムスライス	(豚) 福岡県糸島市	熊本県菊池市	2012/7/27製造	2012/8/7	Ge 検出せず (検出限界値未満)	0.85	検出せず (検出限界値未満)	0.99	検出せず (検出限界値未満)	1.15
1378	12	冷蔵加工品	こだわりのベーコンスライス	(豚) 福岡県糸島市	熊本県菊池市	2012/7/27製造	2012/8/6	Ge 検出せず (検出限界値未満)	0.71	検出せず (検出限界値未満)	0.96	検出せず (検出限界値未満)	1.10
1373	12	冷蔵加工品	みんな元気ヨーグルト	(牛乳) 熊本県菊池地域	福岡県福岡市	2012/7/29製造	2012/8/3	Ge 検出せず (検出限界値未満)	0.87	検出せず (検出限界値未満)	0.99	検出せず (検出限界値未満)	1.03
1366	12	冷蔵加工品	ベーコンスライス	(豚) 福岡県糸島市	熊本県菊池市	2012/7/27製造	2012/8/2	Ge 検出せず (検出限界値未満)	0.79	検出せず (検出限界値未満)	0.94	検出せず (検出限界値未満)	0.95
1363	12	冷蔵加工品	ロースハムスライス徳用	(豚) 福岡県糸島市	熊本県菊池市	2012/7/27製造	2012/8/2	Ge 検出せず (検出限界値未満)	0.93	検出せず (検出限界値未満)	0.72	検出せず (検出限界値未満)	1.25
1344	12	冷蔵加工品	切干大根煮	(大根) 宮崎県(人参) 国内各地	山口県下関市	2012/7/10製造	2012/7/31	Ge 検出せず (検出限界値未満)	0.75	検出せず (検出限界値未満)	0.87	検出せず (検出限界値未満)	0.88
1307	12	冷蔵加工品	ひじきうま煮	(ひじき) 大分県国東市(青大豆) 宮崎県	山口県下関市	(ひじき) 2011年5月採取(青大豆) 2011年収穫	2012/7/23	Ge 検出せず (検出限界値未満)	0.58	検出せず (検出限界値未満)	0.95	検出せず (検出限界値未満)	0.68
1382	13	冷凍加工品	産直豚バ(う味付け細切り)	(豚) 福岡県糸島市	福岡県北九州市	2012/7/16製造	2012/8/7	Ge 検出せず (検出限界値未満)	0.79	検出せず (検出限界値未満)	1.07	検出せず (検出限界値未満)	0.70
1354	13	冷凍加工品	産直豚味付けロースステーキ	(豚) 福岡県糸島市	福岡県北九州市	2012/7/27製造	2012/8/1	Ge 検出せず (検出限界値未満)	0.71	検出せず (検出限界値未満)	0.96	検出せず (検出限界値未満)	1.01
1353	13	冷凍加工品	ローストポーク綾	(豚) 宮崎県東諸県郡	広島県広島市	2012/7/7製造	2012/8/1	Ge 検出せず (検出限界値未満)	0.96	検出せず (検出限界値未満)	0.96	検出せず (検出限界値未満)	0.87
1324	13	冷凍加工品	牛豚合ミンチ(矢野畜産)	(牛) 鹿児島県(豚) 宮崎県	熊本県熊本市	2012/7/23製造	2012/7/26	Ge 検出せず (検出限界値未満)	0.68	検出せず (検出限界値未満)	0.87	検出せず (検出限界値未満)	0.92
1323	13	冷凍加工品	牛豚合ミンチ(山香屋)	(牛) 国内各地(豚) 長崎県、佐賀県、福岡県	長崎県西海市	2012/7/23製造	2012/7/26	Ge 検出せず (検出限界値未満)	0.99	検出せず (検出限界値未満)	1.05	検出せず (検出限界値未満)	1.09
1320	13	冷凍加工品	牛豚合ミンチ(イサミ)	(牛) 国内各地(豚) 宮崎県、兵庫県	岡山県勝田市	2012/7/9製造	2012/7/26	Ge 検出せず (検出限界値未満)	0.82	検出せず (検出限界値未満)	0.67	検出せず (検出限界値未満)	0.99
1347	14	常温加工品	釜めし屋さんの五日釜飯	—————	福岡県三井郡	2012/6/5製造	2012/8/1	Ge 検出せず (検出限界値未満)	1.09	検出せず (検出限界値未満)	1.55	検出せず (検出限界値未満)	1.45
1338	14	常温加工品	即席冷やし中華しょうゆ味	(小麦粉) 北海道	岐阜県関市	2012/7/2製造	2012/7/30	Ge 検出せず (検出限界値未満)	0.84	検出せず (検出限界値未満)	1.07	検出せず (検出限界値未満)	1.70
1332	14	常温加工品	しいたけどんこ(中小玉)(水戻し)	大分県、宮崎県、熊本県、長崎県、福岡県、愛媛県、岡山県	福岡県久留米市	2012年2～4月収穫	2012/7/23	Ge 検出せず (検出限界値未満)	0.94	検出せず (検出限界値未満)	1.00	1.83	0.72
1331	14	常温加工品	しいたけどんこ(中小玉)(乾物)	大分県、宮崎県、熊本県、長崎県、福岡県、愛媛県、岡山県	福岡県久留米市	2012年2～4月収穫	2012/7/20	Ge 検出せず (検出限界値未満)	1.15	検出せず (検出限界値未満)	1.38	6.07	1.50
1330	14	常温加工品	細切しいたけ(水戻し)	大分県、宮崎県、熊本県、長崎県、福岡県、愛媛県、岡山県	福岡県久留米市	2012年2～4月収穫	2012/7/20	Ge 検出せず (検出限界値未満)	0.81	検出せず (検出限界値未満)	1.07	3.48	1.07
1329	14	常温加工品	細切しいたけ(乾物)	大分県、宮崎県、熊本県、長崎県、福岡県、愛媛県、岡山県	福岡県久留米市	2012年2～4月収穫	2012/7/20	Ge 検出せず (検出限界値未満)	1.36	検出せず (検出限界値未満)	1.56	14.29	1.95
1301	14	常温加工品	国内産冬茹椎茸(どんこ)(乾物)	大分県、宮崎県、熊本県、長崎県、福岡県、愛媛県、岡山県	福岡県久留米市	2012年2～4月収穫	2012/7/20	Ge 検出せず (検出限界値未満)	1.50	検出せず (検出限界値未満)	1.41	5.23	1.84
1381	15	菓子類	メープルポリコーン	—————	愛知県名古屋市	2012/7/6製造	2012/8/7	Ge 検出せず (検出限界値未満)	1.05	検出せず (検出限界値未満)	1.03	検出せず (検出限界値未満)	1.24
1367	15	菓子類	フローズンヨーグルト	—————	愛知県豊橋市	2012/6/30製造	2012/8/3	Ge 検出せず (検出限界値未満)	0.94	検出せず (検出限界値未満)	1.24	検出せず (検出限界値未満)	1.16
1359	15	菓子類	ミニかりんとうアーモンド入り	(小麦粉) 愛知県、岐阜県、三重県、北海道	岐阜県揖斐郡	(小麦粉) 2011年5～11月収穫	2012/8/2	Ge 検出せず (検出限界値未満)	1.24	検出せず (検出限界値未満)	1.20	検出せず (検出限界値未満)	1.64
1358	15	菓子類	ポテトチップス(塩味)	(じゃがいも) 千葉県、茨城県	兵庫県朝来市	(じゃがいも) 2011年8月収穫	2012/8/2	Ge 検出せず (検出限界値未満)	1.11	検出せず (検出限界値未満)	1.16	検出せず (検出限界値未満)	1.29
1328	15	菓子類	こざかなぱりぱり	—————	岐阜県揖斐郡	2012/7/18製造	2012/7/27	Ge 検出せず (検出限界値未満)	0.96	検出せず (検出限界値未満)	0.97	検出せず (検出限界値未満)	1.04
1319	15	菓子類	ぶくぶくハウスのクッキーお茶	—————	大阪府吹田市	2012年5月製造	2012/7/26	Ge 検出せず (検出限界値未満)	1.04	検出せず (検出限界値未満)	1.18	検出せず (検出限界値未満)	1.63
1384	16	酒・調味料	塩麴	—————	福岡県久留米市	2012/6/27製造	2012/8/7	Ge 検出せず (検出限界値未満)	0.74	検出せず (検出限界値未満)	0.74	検出せず (検出限界値未満)	0.66
1299	16	酒・調味料	増し味(酒みりんタイプ)	—————	福岡県久留米市	2012/6/26製造	2012/7/20	Ge 検出せず (検出限界値未満)	0.67	検出せず (検出限界値未満)	0.77	検出せず (検出限界値未満)	0.81
1298	16	酒・調味料	純米本みりん	—————	山梨県韭崎市	2012/6/12製造	2012/7/19	Ge 検出せず (検出限界値未満)	0.73	検出せず (検出限界値未満)	0.77	検出せず (検出限界値未満)	0.79
1297	16	酒・調味料	つゆ(2倍希釈用)	—————	岡山県笠岡市	2012/7/11製造	2012/7/19	Ge 検出せず (検出限界値未満)	0.71	検出せず (検出限界値未満)	0.86	検出せず (検出限界値未満)	0.98
1296	16	酒・調味料	国産なたね油	(なたね) 北海道・九州・青森	鹿児島県始良郡	2012/7/3製造	2012/7/18	Ge 検出せず (検出限界値未満)	0.90	検出せず (検出限界値未満)	0.98	検出せず (検出限界値未満)	1.03
1295	16	酒・調味料	一番搾り国産なたねサラダ油	(なたね) 北海道・九州・青森	鹿児島県始良郡	2012/7/3製造	2012/7/18	Ge 検出せず (検出限界値未満)	0.70	検出せず (検出限界値未満)	0.73	検出せず (検出限界値未満)	0.96
1294	16	酒・調味料	みりん千代の園	—————	熊本県山鹿市	2012/6/26製造	2012/7/18	Ge 検出せず (検出限界値未満)	0.75	検出せず (検出限界値未満)	0.63	検出せず (検出限界値未満)	0.71

検査結果については、ホームページでも週に一度のペースでお知らせします。表記についてもホームページと同様になっています

●放射性セシウムの基準値について

2012年4月からの国の基準は、一般食品100ベクレル/kg、乳児用食品・牛乳50ベクレル/kg、飲料水10ベクレル/kg以下です。
グリーンコープは取り扱うすべての商品や原料について10ベクレル/kgを自主基準とし、10ベクレル/kg以上の数値が出た場合、共同体理事会に報告し、取り扱いについて検討・決定することになっています。

●グリーンコープでの放射能検査内容と報告について

検査対象エリア グリーンコープでは、商品や原料について放射能汚染が心配される地域は関東から東北地方が中心であるものの、必ずしもエリアを限定して考えるべきではないという判断で、また利用される組合員の心配に対応するためにも検査対象を全国に広げています。また外国産の食品も検査対象にしています。

検査対象 2011年3月11日以降に、生産・製造・保管されていた商品及び原料を順次検査しています。定期的なサイクルで検査を行えるよう年間計画を立てて検査します。

検査機関 2011年10月よりグリーンコープ放射能測定室（福岡市）で検査を開始しました。ただし、グリーンコープ放射能測定室で検査可能な品目数を超えた場合などは、これまでと同様に外部機関に検査を委託することもあります。

検査日 検体を測定した日を記入しています。

検査結果の表記 ヨウ素131とセシウム134、セシウム137の3種類について結果をお知らせします。
検出限界値未満の結果については「検出せず（検出限界値未満）」と表記します。
「検出限界値」とは、測定において検出できる最小値のことをいいます。放射能の特性として、同じ機器で測定しても検体ごとに検出限界値は変動します。
※検出限界値未満とは、放射能は0ではなく、放射能は存在する可能性があるということです。
厚生労働省から2011年9月29日付けで、検出限界値未満の結果については、測定によって得られた検出限界値を表示するよう通知が出されており、国や自治体から公表される検査結果には、「不検出」や「検出せず」ではなく、検出限界値が表示されるようになりました。